

2 1 学力向上対策推進計画

学力向上推進計画の全体構想図

《 沖縄県学力向上推進5ヵ年プラン・プロジェクトⅡ 》 令和2年度～令和6年度

【目標】

幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基礎となる「新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力」を育む。

【取組の重点】 学びの質を高める「授業改善」

- (1)自己肯定感の高まり
- (2)学び・育ちの実感
- (3)組織的な関わり

《 島尻教育事務所 島尻教育推進の基本方針（令和6年度） 》

【目標】

自ら学ぶ意欲をもち、心豊かでたくましい幼児児童生徒の育成

【豊かな教育活動の展開】

○確かな学力の向上

1「沖縄県学力向上推進5ヵ年プラン・プロジェクトⅡ」に基づく授業改善の推進

2 **学校組織・マネジメントの機能を高め、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。**

○豊かな心の育成

○健やかな体の育成

《南城市 学力向上推進 》

【重点目標】

幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」の育成。

【取組の重点】

柱1：キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上の推進

- 地域教育資源や本物にふれる活動を通して学ぶ意義や働く意義を実感させる。
- 職場見学を教科の内容と繋ぐことで取組の充実を図る。
- 目的意識を高める事前指導と事後指導を工夫する。

柱2：「授業改善」に重点をおいた「確かな学力」の向上の推進

- 幼小中が連携し、系統的・継続的な授業改善の推進
- 「授業改善6つの方策」の共通実践

《玉城小学校 学力向上推進 》

【目標】

授業改善と学習基盤の確立により、児童一人一人に学び・育ちの実感を味わわせ自己肯定感を高めるとともに、国及び県の学力調査において、国語・算数で県平均、全国平均の正答率を目指す。

【推進目標】

- (1) 全国学力学習状況調査、県到達度調査、学びのたしかめにおいて、全国平均・県平均正答率を越すことを目指す。
- (2) 自己肯定感のアンケートやQ-Uアンケートで全国平均を目指す。
- (3) 全国学力学習状況調査及び県学力到達度調査・学びのたしかめにおいて昨年度との比較で落ち込みのある項目の改善を図る。

令和7年度 学力向上推進計画

南城市立玉城小学校

1 目標

授業改善と学習基盤の確立により、児童一人一人に学び・育ちの実感を味わわせ、自己肯定感を高めるとともに、国及び県の学力調査において、国語・算数で県平均・全国平均の正答率を目指す。

2 推進目標

- (1) 全国学力・学習状況調査、県到達度調査、学びのたしかめにおいて、全国平均正答率を超えることを目指す。
- (2) 自己肯定感のアンケートや Q-U アンケートで全国平均を目指す。
- (3) 全国学力・学習状況調査及び県学力到達度調査、県版「児童質問紙」、学びのたしかめにおいて、平均と比較で落ち込みのある項目の改善を図る。

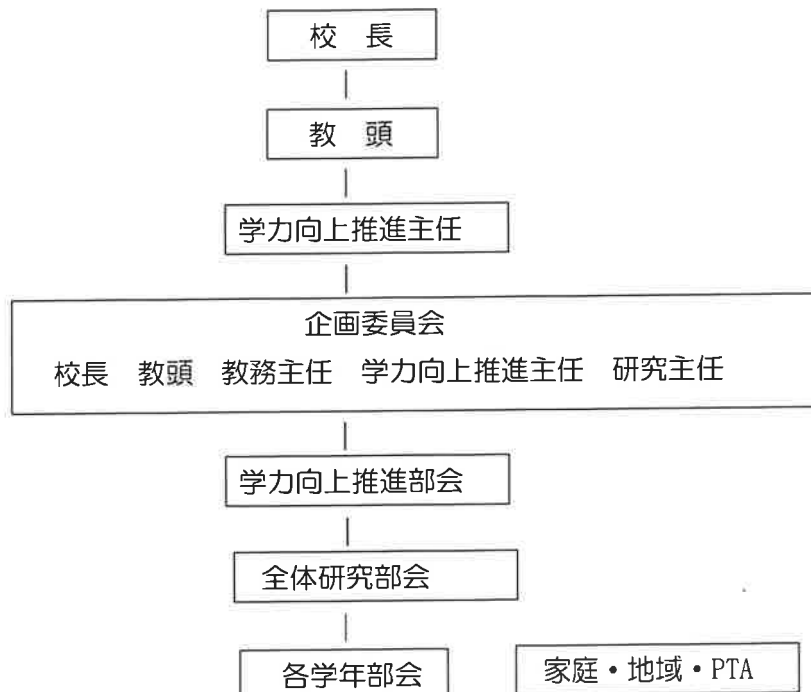
3 取組の重点

沖縄県学力向上施策「自立した学習者」育成プロジェクト（令和7～9年度）に基づく授業改善・学校改善の推進

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- (2) 「学習基盤としての ICT」の活用
- (3) 「指導と評価の一体化」の実現
- (4) 「自学自習力」を育む取組の充実

4 推進体制

(1) 組織



(2) 各種委員会・部会等の取組

①企画委員会

- ・校長、教頭、学推（正・副）主任で組織する。
- ・学力向上と校内研推進の企画、立案する。
- ・取組の結果を分析、考察し、成果や課題等を整理し、取組のまとめをする。
- ・各学年の指導の効果をまとめ「学年のたすき」として、次学年に引き継ぎ、継続した取組が展開できるようにする。

②学力向上推進部会 学推主任 学推副主任 研究主任

- ・校長、教頭、教務、研究主任、学年主任で組織する。
- ・実践のマネジメントサイクルに基づく取組を推進する。
- ・企画委員会で企画、立案した内容を検討する。
- ・学力向上推進の運営、調整を行う。

③学推全体会

- ・全職員で学力向上の取組について共通理解する。

④学年部会

- ・各学年単位での学力向上における日常的な取組を実践する。
- ・各教科の年間指導計画を活用し、基礎・基本の定着を目指す。
- ・取組の重点を踏まえ、学年・学級経営を行う。

⑤家庭・地域・PTA

- ・家庭学習の習慣化を図る。
- ・読書活動の推進を連携して行う。
- ・学習時、ミントウンの会による〇付けボランティアの協力を得る。
- ・校外指導活動で児童の安全を見守る。
- ・児童の安全確保のために、登下校時の児童を見守る。

5 具体的な取組内容

(1) 自己肯定感を高める取り組み

① 児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(誉める)取り組みで自己肯定感アップ

- ・教師ができていない箇所を指摘⇒教師が良さを見つけ誉めて伸ばす
- ・教師ができていない児童を指摘⇒教師ができていない児童を賞賛
- ・児童同士が注意し合う⇒児童同士が認め合う
- ・自分の短所、改善点を見つめ改善する⇒自分の長所、自慢できることに気づきの伸ばす
- ・途中であきらめた、やらなかった、できなかった経験⇒最後までやり遂げた、頑張った達成経験

② 人間関係の形成と居場所づくりで自己肯定感と自己有用感のアップ

- ・ペア学習グループ学習等で互いに学び合い認め合い、人間関係の形成と自己肯定感を高める。
- ・掃除当番、給食当番、係り活動、お手伝いを通してみんなのために役立つ、感謝される、褒められる経験を通して自己有用感と自己肯定感を高める。

③ Q-U アンケートの結果共有

6～7月と10月に実施する Q-U アンケートの結果をもとに気になる児童の把握と全職員による情報共有で自己肯定感を高める手立て支援を講じる。

(2) 学び・育ちの実感の取り組み

① 教室環境を整える(刺激への配慮)

- ・集中し落ち着いて学習に取り組める環境を整えるために、教室の刺激の量を減らす配慮を行う。
- ・黒板及びその周辺の掲示物を必要最小限にする。

統一事項 ○黒板上部：何も貼らない

○黒板「日付、めあて、日直」のみ *その他のものは黒板に貼らない

②「玉小ルール」で学習規律の徹底

- ・全学級に掲示し、児童に学習規律を徹底させ、どの授業でも学習を支える基盤作りをする。
- ・4月の1ヶ月で徹底を図り、日々の学校生活でも常に意識して取り組ませる。

③諸学力調査問題の課題点の重点指導

- ・全国学力学習状況調査、学びのたしかめ、県到達度調査問題で課題のあった指導項目を年度始めに確認し授業の中で重点的に指導したり、掘り下げて指導したりして定着を図る。

④ 漢字力の定着及びテストの実施

- ・漢字力テスト・・・学期末漢字テストを使活用し、85点以上を目指す。(間違えた問題は追試)
- *1回目は解答は配らず実施、2回目から配布

⑤ 計算力の定着及びテストの実施

- ・計算力テスト・・・学期末まとめのテストを活用し、85点以上を目指す。(間違えた問題は追試)
- *表のみ集計に入れる。

⑥ 「玉小ルールアンケート」の実施

- ・玉小ルールと自己肯定感の質問項目で年に3回(各学期)、学校生活について児童の自己評価アンケートを実施する。
- ・自分の学習を支える力の基盤ができているか再確認させたり、自己肯定感を高める取り組みの成果を確認したりするのに役立てる。 1学期(4/26)、2学期(11/1)、 3学期(1/31)
- *集計クロムブック(集計結果を各学級で活用する)

⑦ 生活リズムアンケートの実施

- ・生活リズム習慣「朝ご飯を食べた、テレビの視聴時間、就寝時刻、家庭での読書時間、家庭学習の時間(学年×10+10)」について家庭と連携して1週間、アンケートを取り、児童の生活実態を把握して指導に生かす。 1学期(5/7~5/11) *担任回収

⑧ 「家庭学習スケジュール表」実施

- ・学年で統一した用紙を用いて、各自の1週間の家庭学習スケジュール表を作成する。
- ・がんばりノートや宿題ファイルに綴るなどして、1週間意識して取り組めるようにする。
- ・2学期(9月)実施

6 実践のマネージメントサイクル

	月	本校の実践
計 画	4月	○学力定着・学習規律強化月間の実施 ○「玉小ルール」の確認 *学推朝会 ○「学力向上対策推進計画」の共通理解 ○年度始めの支持的風土をつくる学級経営を中核とした取組 ○玉小ルールアンケート1回目（集計4月23日（水）にて） ○各学期、計算力テスト・漢字力テストの取り組み確認。 ○全国学力・学習状況調査に向けた6年の補習の取組 ○全国学力・学習状況調査実施（WEB入力）
実 践 評 価 改 善	5月	○生活リズム実態調査 5月実施 回収担任
	6月	○「県学びのたしかめ」実施（WEB入力） ○ハイパーQ-Uアンケート（1回目）が7月上旬
	7月	○1学期漢字力テスト ○1学期計算力テスト ○全国学力・学習状況調査の結果分析。
	8月	○学力定着月間に向けてプリント印刷作業
実 践 評 価	9月	○「玉小ルール」の確認 *学推朝会2回目 ○家庭学習スケジュール表」実施 ○県学力向上月間の取組の共通確認
	10月	○ Q-Uアンケート実施（2回目）
	11月	○玉小ルールアンケート2回目（集計4月23日（水）にて） ○「県学びのたしかめ」の実施（WEB入力）
	12月	○2学期漢字力テスト ○2学期計算力テスト
改 善	1月	○地区学力向上推進報告書の作成（データのみ） ○学力向上推進報告会 授業参観日
	2月	○玉小ルールアンケート 3回目 ○県学力到達度調査対象；3～6年（前年度5・6年 国・算） ○3学期漢字力テスト ○3学期計算力テスト
計 画	3月	○全国学力学習状況調査に向けての取組（5年） ○次年度計画策定



玉城小ルール



登校中

あいさつ

あかるく **い**つも **さ**きに **つ**づけよう



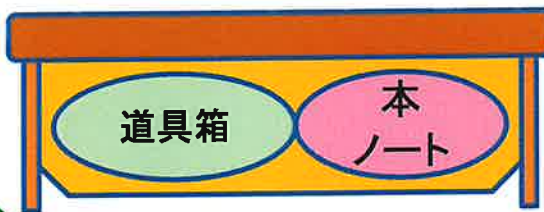
登校後

ふでばこ



- ①2B・Bのえんぴつ(5本)
- ②赤青えんぴつ・ペン
- ③定規
- ④ネームペン
- ⑤消しゴム

机の中



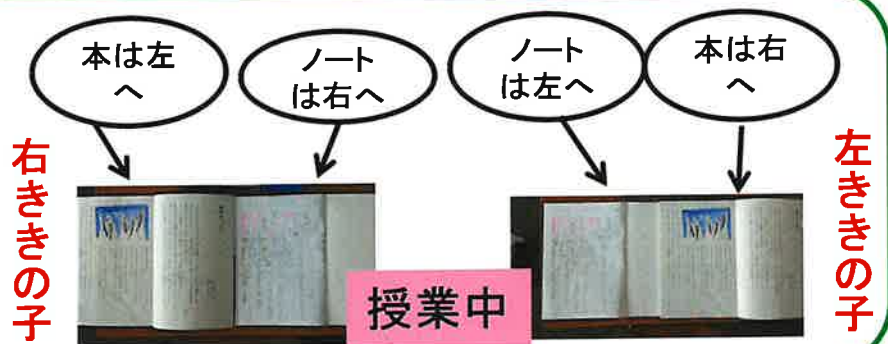
右・・・本・ノート・下じき
左・・・のり・✂・クーピー
定規セット(整理整とん)

授業前

机の上



授業前



時間に合わせて 1分前着席 黙想



授業中

座り方

- ①お腹と背中は一握1つ
- ②足裏をつける
- ③背筋を伸ばす



ゲー
ピタ
ピン

席を立つ

イスを机の下へ

挙 手手をのばし「はい」は1回
しずかに手を挙げる**返 事**

「はい」「いいえ」が言える

聞き上手

聞き取るように意識する

質問や意見ははっきりと話す

話し上手

伝わるように意識する

質問や意見には、はっきりと答える

発 表主語・述語を考え「です」
「ます」をつけてはっきり言う**ノートの使い方**

- ①月日を書く ②定規を使う
③めあて・まとめ→赤 考え→青

**クロムブックの使い方**

授業中、学習に関係することに使います。

安全安心

^{ぬち}「命^{たから}どう宝」横断歩道を渡ります
「いかのおすし」を守ります